●ご使用のたびにお手入れしてください。
●お手入れの際は、必ず電源を切り、十分に冷

トッププレート部・本体・天ぷら鍋（付属品）

ご注意 ●ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
●吸・排気口に水が入らないよう、ご注意ください。

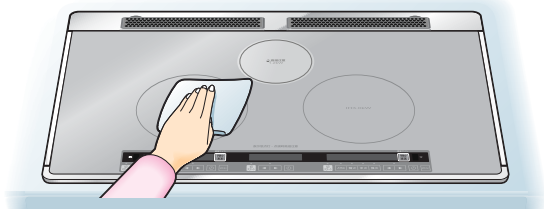
トッププレート・プレートワク（ステンレス製）

●軽い汚れ

絞ったふきんでふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

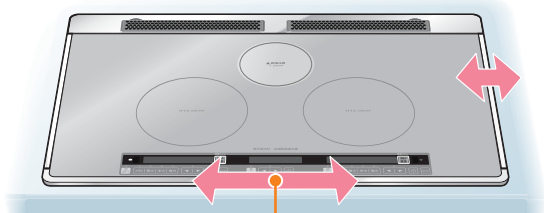
●油汚れ

台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意 酸性・アルカリ性の強い洗剤（漂白剤、住宅用合成洗剤など）は使わないでください。

●落ちにくい汚れ

クリームタイプのみがき粉を丸めたラップにつけてこすりとる。

※プレートワクはステンレスの筋にそって、こすってください。

ご注意 ●ドライバーやフォークなど先の鋭いものや粒子の粗いみがき粉は使わないでください。
●金属のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

筋の方向は横向きです

●それでも落ちないときは

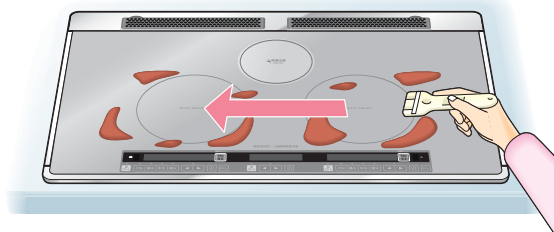
市販のセラミック用スクレーバー等で煮こぼれの部分だけを軽く削り落とし、その後よくふき取る。

別売品 2007年7月現在

トッププレート専用クリーナー

●トッププレートの汚れをおとし、光沢をだし、ふきこぼれによる汚れや焦げつきを抑えます。

品　名：ガラスクリーナー
型　式：HT−K1
希望小売価格：1,470円
（税抜1,400円）

※お買い上げの販売店または「ご相談窓口」➔P.63 の窓口にご相談ください。希望小売価格は価格改定に伴い変更する場合があります。

お知らせ ●しょうゆなどの調味料を放置すると、汚れあとが残ることがあります。
●鍋底の汚れがトッププレートにつく場合があります。鍋底の汚れも取り除いてください。

えたことを確認してから行ってください。

吸・排気カバー、吸気口ポケット、排気口ポケット

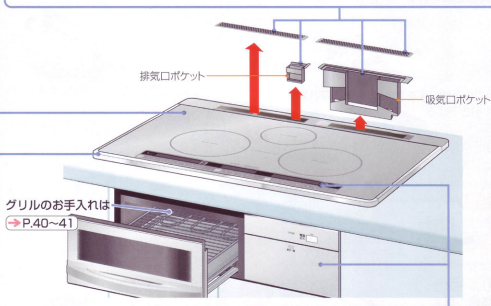
薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。
※たわしやみがき粉は使わないでください。

吸・排気カバーの下の油汚れもお手入れしてください。

ご注意
●汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、グリル使用中にグリルドアから煙がもれたりする場合があります。
●お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。

排気口ポケット

吸気口ポケット

グリルのお手入れは
➔P.40〜41

天ぷら鍋（付属品）

①薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。
●たわしやみがき粉（クレンザー）は使用しないでください。

②鍋底や外側の異物や汚れをとる。
●汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。
●洗ったままにしておくとさびる場合があります。
※天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
●鍋底が反ってきたり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。➔P.5

上面・前面操作パネル部

やわらかい布でふき取る。
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意
●水にぬらさないでください。故障の原因となります。
●ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。
●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。

お手入れ（つづき）

●ご使用のたびにお手入れしてください。
●お手入れの際は、必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認してから行ってください。

グリル部

グリルドア・受皿・焼網の取り外しかた

1 とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出す

受皿内の脂などをこぼさないように注意してください。

2 焼網と受皿を外す

焼網
受皿

3 とっての下側に手をまわし、グリルドアバネを軽く引き下げる

グリルドアバネを押さえずに無理に外すとグリルドアが破損したり、変形することがあります。

ご注意

グリルドアを押し倒して外さないでください。グリルドアが破損したり変形することがあります。

4 グリルドアを本体側へ倒すようにし、左右2個のツメを外す

グリルドア
ツメ
レール

グリルドア・受皿・焼網の取り付けかた

1 グリルドアを本体側へ倒すようにし、レール側のツメ2個をグリルドア下部の角穴に差し込む

2 グリルドアを手でささえ、垂直に起こしながらはめ込む

カチッと音がしてグリルドアが固定されます。

3 受皿と焼網を載せる

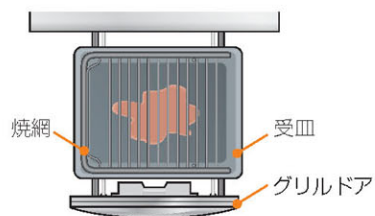
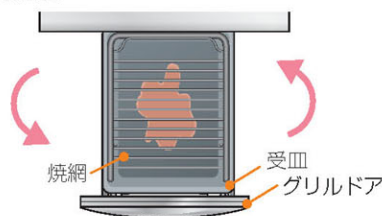
ささえ部
焼網
受皿

焼網は、ささえ部を手前にして載せてください。焼網を逆に入れるとヒーターに当たってドアが閉まりません。

4 グリルドアは本体の前面に当たるまで押して閉める

脂や汁がたまっている受皿の取り外しかた

①脂や汁がたまっている受皿の両側をしっかり持ち、ゆっくりこぼれないように90度回転させます。

②受皿の脂や汁がこぼれないようにゆっくり持ち上げて外してください。

グリルドアのお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い
●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
●グリルドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

受皿・焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。

お願い 受皿・焼網のフッ素加工を傷めないでください。

●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。また受皿の裏面を傷つけます。
●焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤を使ったりしないでください。
●ご使用の度にお手入れしてください。
汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
●受皿・焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。（→ P.5）

グリル庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。グリル庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

準備 焼網・受皿を取り外し、グリルドアを確実に閉める。前面操作パネルを開く

1 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、**電源ランプを点灯させる**

2 追加焼き を3秒押し、**表示部に「CL」を表示させる**

3 切 スタート を押し、**通電する**

メロディーが鳴ったら終了です。

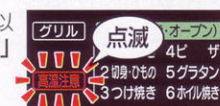
4 続けて使わないときは 電源 切/入 を押し、**電源を切る**

お知らせ
●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
●クリーニング中は、グリル庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

グリル庫内に落ちた食品カスなどは、グリル庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。

ご注意
グリル庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に CL を表示します。約10分で終了します。

●庫内の温度が約80℃以下になるまで「高温注意」表示をします。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次のことをお調べください。

現　象	原　因
通電しない。	●専用ブレーカーが切れていませんか。 専用ブレーカーを入れてください。 ●電源が切れていませんか。（電源ランプが消えている。） 電源を入れてください。 • 電源をブザーが鳴るまで押してください。 • 電源ランプが点灯します。 ※電源を「入」の状態で約30分放置するとオートパワーオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。 チャイルドロックを解除してください。➔P.36 ●中央ヒーターロックが設定されていませんか。 中央ヒーターロックを解除してください。➔P.36 ●左･右ヒーターで使える鍋を使用していますか。 （使える鍋について ➔P.12 ）
使用途中にヒーターの通電が停止した。 （切り忘れ防止自動停止機能）	●切り忘れ防止自動停止機能が働いています。 各ヒーターに一定時間経過すると自動的に通電を停止する、切り忘れ防止自動停止機能が設けられています。 • 左･右･中央ヒーターは操作後約45分 • グリル（手動調理）は約30分 切り忘れ防止自動停止機能が働いた時はメロディーでお知らせします。 再度、通電をスタートしてください。
液晶表示の火力バーが交互に点灯し、約30秒後に消灯した。 （小物検知自動停止機能、鍋無し自動停止機能）	●鍋をヒーターの中央に置いていますか。 ●使えない鍋を置いていませんか。➔P.12 使える鍋を置いてください。 ※図は火力「7」で使用した場合。 約30秒後、メロディーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。 ※付属の天ぷら鍋で確認しても同じ場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。
使用途中に停電になった。	●通電中のヒーターは停止し、タイマーも取り消されます。 ●電源を入れ、もう一度操作を初めから行ってください。 • 電源をブザーが鳴るまで押してください。 • 電源ランプが点灯します。

現　象	原　因
鍋底の直径が小さかったり、鍋底が反っている鍋は火力が弱くなることがある。	●ホーロー製やステンレス製の鍋については鍋底の直径が左・右ヒーターの場合は12～26cmのもので、鍋底の反りが3mm以下のものをご使用ください。（使える鍋について ➔P.12 ）
左･右ヒーターで火力が違う。	●同じ鍋でも、左･右ヒーターで火力が異なる場合があります。また小さい鍋では、通電できる場合とできない場合があります。
炒めものなどを行うと左･右ヒーターの火力が弱くなることがある。	●炒めものなどを行うと、鍋底温度が上がり、自動的に火力をコントロールする場合があります。温度が下がると自動的に火力が強くなるので、そのままご使用ください。
中央ヒーターが周期的に赤くなったり、消えたりする。（クィックラジエントヒーター）	●中央ヒーターは、火力のコントロールや温度調節機能が働くため、ヒーターが赤くなったり、消えたりします。（火力「**3**」の場合でも温度調節機能が働きヒーターが赤くなったり、消えたりします。） ●反った鍋などを使うと消えている時間が長くなります。
電源を入･切すると「カチャ」と音がする。	●電源を入･切すると、内部電気部品のスイッチの作動音がします。
電源を切っても音がする。	●本体内部の冷却のために、ファンが最大約10分間回ることがあります。異常ではありません。 自動的にファンは止まります。

故障かなと思ったら（つづき）

現　象	原　因
使用中にファンの音が止まることがある。	●本体内部を冷やすために冷却ファンが回転していますが、設定火力によっては止まることがあります。
左・右ヒーター使用中に鍋から音がする。	●鍋底が薄い鍋や多層鍋、ホーローの密着が良くない鉄ホーローなど鍋の種類によっては音（ジー音、カチカチ音）や共鳴音（キーン音、キューン音）が発生することがあります。また鍋のとってに振動を感じることがあります。これは磁力線により鍋自体が振動するためで、異常ではありません。 • 鍋の位置をずらしたり、置き直したりすると音が止まることがあります。 • 左・右ヒーターを同時に使用した場合、鍋の種類によっては調理中に共鳴音「キーン」や「キューン」という音がしますが、これも磁力線により鍋が振動するためで異常ではありません。
液晶表示に「M」が表示されたままでヒーターに通電しない。	●前面操作パネル部のグリルの「切/スタート」キーと「タイマー」キーを同時に3秒以上押してください。 • ブザーが鳴り「M」が消灯します。
表示部の液晶が黒くなる。	●表示部の上に熱い鍋などを置くと液晶が黒くなることがありますが、しばらく放置するともとにもどります。 ※表示部の上に熱い鍋などを置かないでください。
表示部の液晶がくもる。	●しばらく放置するともとにもどります。
グリルの吸・排気カバーから出た水蒸気が壁面に結露することがある。	●調理時に吸・排気カバーから出る水蒸気などが壁面につき水滴になることがありますので、ふきんなどでふき取ってください。

現象	原因
グリル調理中、庫内で瞬間的に炎ができたり、吸・排気カバーから煙が出る。	●魚の脂などがヒーターの上に直接落ちると、瞬間的に炎や煙が出ることがあります。異常ではありません。 ●魚の脂などが受皿に落ちると、瞬間的に煙が出ることがあります。異常ではありません。 ●調理を始めてしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂が加熱されて、においや煙が出ることがあります。異常ではありません。
グリル調理終了後、タイマー表示部に CL 表示が出て、吸・排気カバーから熱風が出る。	●調理終了後、ヒーターのクリーニングのため、下ヒーターと触媒加熱用ヒーター、ファンに通電します。(約5分間)
グリルで魚を焼いたときに排気口部やグリルドアの隙間から煙や水蒸気が漏れることがある。	●グリル庫内の排気口部には煙やにおいをおさえる触媒機能が入っていますが、魚などの調理物から多量の煙が発生した場合は触媒の能力を超えて排気口部やグリルドアの隙間から漏れることがありますが、故障ではありません。
自動炊飯や保温動作中に鍋をおろしても表示部に「鍋確認」と表示されない場合がある。	●自動炊飯や保温は火力を自動的に調節します。火力が0(ゼロ)Wになっているときに鍋をおろしても「鍋確認」を表示しません。自動炊飯を途中で中止する場合や保温を終了する場合は、上面操作パネル部の「切/スタート」キーを押して通電を切ってください。
レンジフードが回らない。 (レンジフードファン連動システム付のみ)	●送信部または受信部が汚れていませんか。 クッキングヒーターの送信部・レンジフードの受信部を掃除してください。(レンジフードの取扱説明書も合わせてご覧ください。) ➔P.37 ●送信部に鍋などを置いていませんか。 鍋などを送信部から取り除いてください。➔P.37 ●送信部の上にフライパンなどのとってを向けていませんか。 フライパンなどのとっての向きを変えてください。➔P.37
クッキングヒーターのヒーターまたはグリルの通電を停止しても、レンジフードが止まらない。 (レンジフードファン連動システム付のみ)	●レンジフードはクッキングヒーターすべてのヒーターとグリルの通電を停止しても約3分間回ります。 すぐにレンジフードを止めたい場合はレンジフード「切」キーを押してください。 ●クッキングヒーターのいずれかのヒーターまたはグリルの通電をしているとレンジフードは止まりません。 止める場合は、レンジフード「切」キーを押してください。

故障かなと思ったら（つづき）

自動炊飯について

現　象	原　因
炊き上がったごはんがかたすぎる／芯が残る。	●米の量、水の量がまちがっていませんか。 正しくはかって下さい。→P.23 ●炊く前に米を浸していますか。 通常30分以上、冬場は1時間以上浸してください。 ●炊くときにお湯を使用していませんか。 お湯を使用すると芯が残ります。
炊き上がったごはんがやわらかい。	●洗米後によく水を切っていますか。充分に水を切らないと炊飯時の水量が多くなります。 お米を研いだあとは、ザルに上げて充分に水切りをしてください。 ●炊飯後にふたをしたままおいていませんか。湯気が露となって落ち、ごはんがべちゃつきます。 通電が終了したら、すぐにふたを開け、全体をほぐして余分な水分を逃がしてください。 • ふたをしておくときは、乾いたふきんをかけてからふたをしてください。
ごはんが焦げる、こびり付く。	●炊飯に適さない鍋を使うと、ごはんが焦げついたり、こびり付きやすくなります。（うす手の鍋、ホーロー鍋など） 必ず SIH または SCH・IH マーク付きで底の厚さ1.5mm以上の鍋をお使いください。→P.12 ●無洗米は、焦げやすくなります。 残り10分で通電を切り、鍋をヒーターから外して蒸らしてください。 • こびり付く場合は、ぬれたふきんの上に置いて蒸らすと抑えられます。
ごはんが炊けていない。	●設定をまちがえていませんか。 炊飯メニューを使い、米の量に合わせてカップ数を正しく設定してください。→P.22
自動炊飯のカップ数をまちがえた。	●5分以内であれば、「切/スタート」キーで一度通電を切り、再操作できます。 ●5分以上たつと、自動では炊けません。 火力調節して炊いてください。 • 沸とうまで火力「**4**」、蒸気が出たら火力「**1**」（約15分） →通電を切って蒸らす。

上面操作部について

現　象	原　因
上面操作パネルの表示に CP と表示されてキー操作ができない 約10秒後に CP と表示され通電が停止する	●上面操作部に調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着していませんか。 調理物や水滴などを取り除いてください。→P.48 ●上面操作部に鍋などを置いていませんか。 鍋などを取り除いてください。→P.48 ●キーを長押ししていませんか。 キーに約3秒以上ふれていても表示されます。→P.48
上面操作パネルの表示に CP と表示され通電が停止する	●上面操作部の 切/スタート の上に調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着していませんか。 調理物や水滴などを取り除いてください。→P.48
上面操作部のキー操作ができない	●指に指サックや傷テープ、手袋をしていませんか。 直接指でふれてください。 ●隣のキーに触れていませんか。 一個づつ操作してください。 ●上面操作部に物を置いていませんか。 物を取り除いてください。 ●上面操作部に調理物や汚れがこびりついていませんか。 トッププレートのお手入れをしてください。→P.38 ● 切/スタート を1秒以上の長押しをしていますか。 ブザーが鳴るまで押してください。

故障かなと思ったら（つづき）

上面操作パネルに次の表示が出たとき

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
C11 C21 左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●空だきになっています。 ●炒めものの調理を行うと表示する場合があります。	●鍋に調理物を入れてください。 ●火力を下げてご使用ください。
C12 C22 揚げもの温度コントロールを使用したら、左・右ヒーターの液晶表示が赤く点灯する。	●付属の天ぷら鍋の底に2mm以上の反りがあったり変形しています。 ●付属の天ぷら鍋の底やトッププレートに異物や汚れが付着している。	●反りや変形がある場合は新しい鍋をご購入ください。➔P.5 ●異物や汚れの場合はお手入れをしてご使用ください。
CP 左・右・中央ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する	●上面操作部に調理物がふきこぼれたり、水滴などが付着している。 ●上面操作部に鍋などを置いている。 ●キーを長押ししている。	●調理物や水滴を取り除いてください。 ●鍋などを取り除いてください。 ●キーを約3秒以上ふれないでください。
H15 H25 左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●吸・排気カバーにほこりがたまっています。 ●吸・排気カバーがふさがれています。	●ほこりをふきとってください。➔P.39 ●ふさがないでください。
H17 H27 左・右ヒーター使用時、液晶表示が赤く点灯する。	●鍋の種類が違っています。	●鍋の種類を確認してください。➔P.12
C61 液晶表示が赤く点灯する。	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。	●お買い上げの販売店にご連絡ください。

表示が出たときは・・・

①C11、C12、CP、H15、H17の表示が出たときは左ヒーターの 切/スタート を押す。

②C21、C22、CP、H25、H27の表示が出たときは右ヒーターの 切/スタート を押す。

③CPの表示が出たときは中央ヒーターの 切/スタート を押す。

※①、②、③の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

前面操作パネルに次の表示が出たとき

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
C1 C3 C4	●通電したまま連続して魚を焼いた場合。	●いったん通電を切り、グリル庫内の温度を下げてから、次の調理物を入れる。
C6	●電源電圧が異常に高い場合や低い場合。	●お買い上げの販売店にご連絡ください。

上記以外の表示がでたときは、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

表示が出たときは・・・

①C1、C3、C4の表示が出たときはグリルの 切/スタート を押す。

※①の操作をすると表示が消えます。再度通電を行い、同じ表示が出たら、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

火力の目安について

●左・右ヒーター（IHヒーター）

火力の目安	バックライト色	火力	消費電力
ハイパワー	赤	12	3.0kW
		11	2.6kW
強　　火		10	2.0kW
		9	1.6kW
中　　火	オレンジ	8	1.4kW
		7	1.1kW
		6	800W
弱　　火	ミドリ	5	500W
		4	400W
		3	300W
		2	200W相当
と ろ 火		1	100W相当

※消費電力は、鉄ホーロー鍋を使った場合です。

●中央ヒーター（クイックラジエントヒーター）

火力の目安	火力表示	消費電力
強　　火	■■■（火力「3」）	1.2kW
中　　火	■■＿（火力「2」）	600W相当
弱　　火	■＿＿（火力「1」）	300W相当

※相当とはヒーターの入/切による平均消費電力です。